

2022年1月17日

中野区議会 議員の皆様

中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備に関するアンケート ご回答への御礼 と 内容分析

謹啓

先般はお忙しい中、私どものアンケートにご回答を賜り、厚く御礼申し上げます。
ご協力、誠にありがとうございました。

アンケートの「主旨」の部分に書かせて頂いたとおり、私どもの意図は、この再整備の実施プロセスが広く一般区民には把握されていないと思われる中、議員の皆様にとっては状況がどのように見えているのかを、採択して頂いた陳情を軸にお訊きすることで、複眼的な視座を得て、再整備をめぐる私どもの今後の活動、とりわけ区への働きかけの方向性を見出そう、というものでした。

その作業の端緒として、5つの設問ごとに、頂いたご回答群を以下のように考察してみましたので、とりあえずのご報告としてお目通し頂けると幸いです。

また別途、2団体それぞれの独自の視点もお届けする場合もあろうかと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

以上、重ねて深く感謝の意をお伝え申し上げる次第です。

敬白

公益社団法人 日本建築家協会(JIA) 関東甲信越支部 中野地域会
一般社団法人 東京都建築士事務所協会(TAAF) 中野支部
両団体による、中野駅新北口駅前エリア拠点施設に関する検討会 一同

全般的な回答状況

議員 41 名中、回答（会派としての回答も会派人数で計算） 38 名（うち無所属 6 名）、未回答 3 名

各設問ごとの回答分布と、とりあえずの考察

問 1

中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備は、中野区民にとって「我が家のリフォーム」に近いものがあります。慣れ親しんだ生活の拠点、アイデンティティの拠り所である「まち」の改変は、計画推進者と実際のまちの住まい手とが協力し、計画の内容を十分に合議して進めたいものです。

現在進行中の拠点施設整備の計画内容を、区民が事前に知り、なるべく多くの者が納得し、あたらしい「まち」を享受するために、どのような方法が良いとお考えですか？（複数可）

- 答 1
- A) WEB 等をつうじて内容を解りやすく広報する $9+8+8+6+1+6=38$
 - B) 計画上の問題点を区民や議会と事前に共有する $6+1+5=12$
 - C) 意見交換会を数次にわたり実施し、有意義な区民提案は採用する $9+6+1+6=22$
 - D) 区民の負担については丁寧な説明を重ねる $9+6+1+6=22$
 - E) 自由記載 1 = 「中野区が持っている計画内容の情報を全て開示する」

とりあえずの考察：

- ・A が最多となっているが、この方法だけでは一方向情報にとどまることになり、この選択肢のみを回答された会派には、ぜひ選択肢 C の下記説明をお読み頂きたい。
- ・計画上の問題点を区民や議会と共有する選択肢 B は、責任を受託者にとどめる感覚（無意識）からか、最少にとどまっている。
受託者側は計画立案の設定に問題が無いかまたは不可抗力であると考えてるのが一般的であって、計画の問題点の発端は発注者に大きな責任があるのだから、区民と問題点を共有し、あるいは区民の

側からも指摘すべきである。発注者責任に関する社会全体の理解がまだ不足しているとも考えられる中、議会にもこの問題点共有への力添えを期待させて頂きたい。

- ・選択肢 C については今日、主要な先進国では純粋な民間事業においてさえ、住民との意見交換が必要となつて来ており、公共プロジェクトは住民との合意形成が実施の前提となる国が多い。住民参加の歴史を誇る中野区こそ、選択肢 C の方式を率先して推進してほしい。

問 2

2017 年 3 月の JIA の陳情「区役所・サンプラザ地区の再整備を独自性・先進性に富むものとすることについて」は区議会で採択されたところです。その主旨 5 項目は、

1. 中野の文化・アイデンティティを継承発展させる、区民が誇れる意匠・計画とされたい。
2. 敷地の持つ生活空間としての可能性、近隣街区との連動性を探求して頂きたい。
3. 事業スケールに無理がないよう、機能の可変性などでリスクを回避し、立地の特性も十分に活かして頂きたい。
4. 「2050 年に向けた地球環境対策」への適合を図って頂きたい。
5. アイディア・コンクールや学校等でのワークショップ、入居企業や店舗向けのワークショップ、完成後の入居者・利用者の組織・活動の事前始動など、利用者・生活者との双方向性や透明性を高める工夫をして頂きたい。

となっていました。

これら 5 項目で、現在の事業の進め方では実現できないとお考えのものを選んで下さい。（複数可）

- 答 2
- 1) $1+1+1+1=4$
 - 2) $1+1=2$
 - 3) $1+1=2$
 - 4) $6+1+1+1^*=9$
 - 5) $9+1+1+1=12$

自由記載 8 = 「特になし」

8 = 「現段階では判断できないと考えています」

1 = 「現在の事業の進め方でも意識と工夫で全て実現可能だと思われます。」

1^* = (4 をチェックの上) 「真剣に考えてやろうと思えばできるのではないか？」

1 = (チェックなしの上) 「5 については企業や店舗に対してどこまでコミットメントを求めるかは要検討」

とりあえずの考察：

- ・専門家団体よりも計画内容への批判的評価が少ないように見受けられる。
2 団体それぞれからの、計画への評価や問題点指摘を早めに共有したい。
- ・既に始動している形のタウンマネージメントの動きが周知されていない様子がある。
あるいはこの始動状況に閉鎖的な面があることを指摘しているとも受け止め得る。
継続的に広く参加者を募る広報を行うべきである。
- ・計画の弱点を指摘した 2 会派の、指摘項目に相違があった点は興味深い。

問 3

2017 年 8 月（改題 11 月）の TAAF の陳情「区役所・サンプラザ地区の再整備にあたり専門家集団との意見交換の場を設置することについて」は区議会で採択され、意見交換は時折、実施されています。会合での専門家集団からの要請事項につき、所轄から議会報告はありましたか？

- 答 3
- A) あった $8+1^{**}=9$
 - B) 出席した会議では無かった $9+8+6+1+1+1+1^*+1=28$
 - C) 記憶していない $1^*+1=2$ < * 「B と思うが C の可能性あり」 >
 - D) 自由記載 1^{**} (A をチェックの上「報告はあったが内容は具体的ではなかった」)

とりあえずの考察：

- ・「出席会議では無かった」との B 回答が多いが、実際は自由記載のとおり、「意見交換している」旨の最小限の委員会報告が 1 回あったのみ。
- ・陳情採択時の議会の意向は全会一致で「専門家団体の知見を区が採り入れるべき」としたと考えられるが、専門家団体側には意見交換が成果を生んでいる実感は無く、せつかくの議会採択をもっと生かす方策を考える必要がある。
- ・公共建築物や再開発計画に対し、先進諸国で普及してきたレビュー制度が、日本では遅れていることへの意識喚起、またその手法の PR も必要だろう。

問 4

2019 年 8 月に JIA と TAAF の連名にて、区議会議長ならびに議員各位あて、「中野駅新北口駅前エリア再整備の今後の事業展開への提案」をお届けし、計画・設計プロセスの透明性や、設計者等の選定方法の透明性などを要望させて頂いたことをご存じでしょうか？

- 答 4
- A) 内容をよく知っている $8+8=16$
 - B) およその全体像を覚えている $9+5+1+1+1+1^*+1+1=20$
 - C) ほとんど覚えていない 1
 - D) 自由記載 1^* (B をチェックの上「要望があったことは覚えている。ただ、『良く知っている』と言えるほど深く理解していない可能性がある。」)

とりあえずの考察：

- ・これは区へと同時に提出した要望書で、陳情でなくても議員各位の把握・記憶の対象となったと考えられる。時間的余裕が無いなど、陳情に替えての選択肢として、今後も考えたい。
- ・しかし、要望内容の 3 項目「専門家会議の設置」「区民会議の延長」「計画・設計プロセスの透明性ならびに設計者等の選定方法の透明性確保」のいずれもが、実現しなかった。
- ・特に、「計画・設計プロセスの透明性確保」については「計画・設計の各ステップが公開され、再整備の与条件を広く区民が共有できれば、まちへの帰属感にも寄与し、中野の一体感、ひいては中野のアイデンティティ獲得の土台となりうるので、ご対応ください」と要望したが、次の問 5 のとおりの展開に留まっている。
- ・「設計者等の選定方法の透明性確保」も結果論で考えれば、プロポーザル以前からの「事業協力者」が選定されたことから、不透明な印象を社会全体に与えた感は否めない。

問 5

2019 年 11 月に JIA と TAAF の連名にて、陳情「中野駅新北口駅前エリア再整備における民間事業者公募プロポーザルの募集要項について」が提出され、5 項目全てにつき採択されたところです。その主旨のうち第 4 項目は

「選出された者が事業内容やその形姿を具体化するに際し、区民や利用者あるいは各分野の専門家との意見交換が十分にできる事業体制を整えることを、(募集要項の)要件に加えて下さい。」

となっています。

採択に基づき、事業者が意見交換を区民の代表である区議会と行っているのでしょうか？

- 答 5
- A) 行っている $8+8+1^{**}=17$
 - B) 行っていないが、これからすることを期待する $9+6+1+1=17$
 - C) 期待できない $1+1+1^*+1=4$
 - D) 必要ない
- 自由記載 1^* = 「行っていない、期待できない」
 1^{**} = 「勉強会という形式でディスカッションした。行っているがまだ充分とは言えない。」

とりあえずの考察：

- ・前問4の要望書に記載の「計画・設計の各ステップが公開され、再整備の与条件を広く区民が共有できれば、まちへの帰属感にも寄与し、中野の一体感、ひいては中野のアイデンティティ獲得の土台となりうる」と同じ視点に立った、世界的スタンダードになりつつなるレビュー制度を念頭に置いたプロポーザルの要項へのこの要請が陳情採択された結果、一見近似した文言が要項内に盛り込まれたが、実際には「権利者との意見交換」にとどめる内容であり、陳情主旨である区民や関係専門家を対象としたものではなかった。
- ・2会派が事業者との意見交換を「行っている」としていることが注目される。開かれた区政が求められる中、意図的ではなくても情報共有の相手が遍在しているのであれば、ぜひとも是正を求めたい。
- ・専門家との意見交換が十分にできている実感は、当2団体には無い。レビューまたはそれに近いヒアリングが実現することを今後、期待したい。